平城宮跡の土質等に関する調査について

○木簡出土深度における地下水位と土壌水分量の関係

- 木簡出土深度と地下水位、土壌の水分量の関係を把握するため、木簡が数多く見つかった「第429次東方官衙地区」において地下水位と土壌水分量の関係を平成21年3月より継続観測中。
- 木簡出土深度では、『地下水に浸っている時間が長くなっている』ほか、地下水に浸っていない期間でも、土壌の飽和度が高く、『土壌水分量は保持』されていることを引き続き確認。

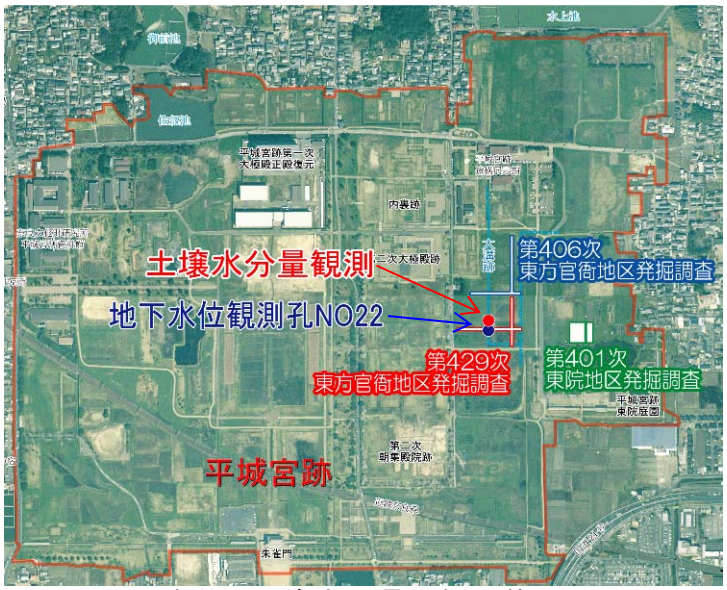
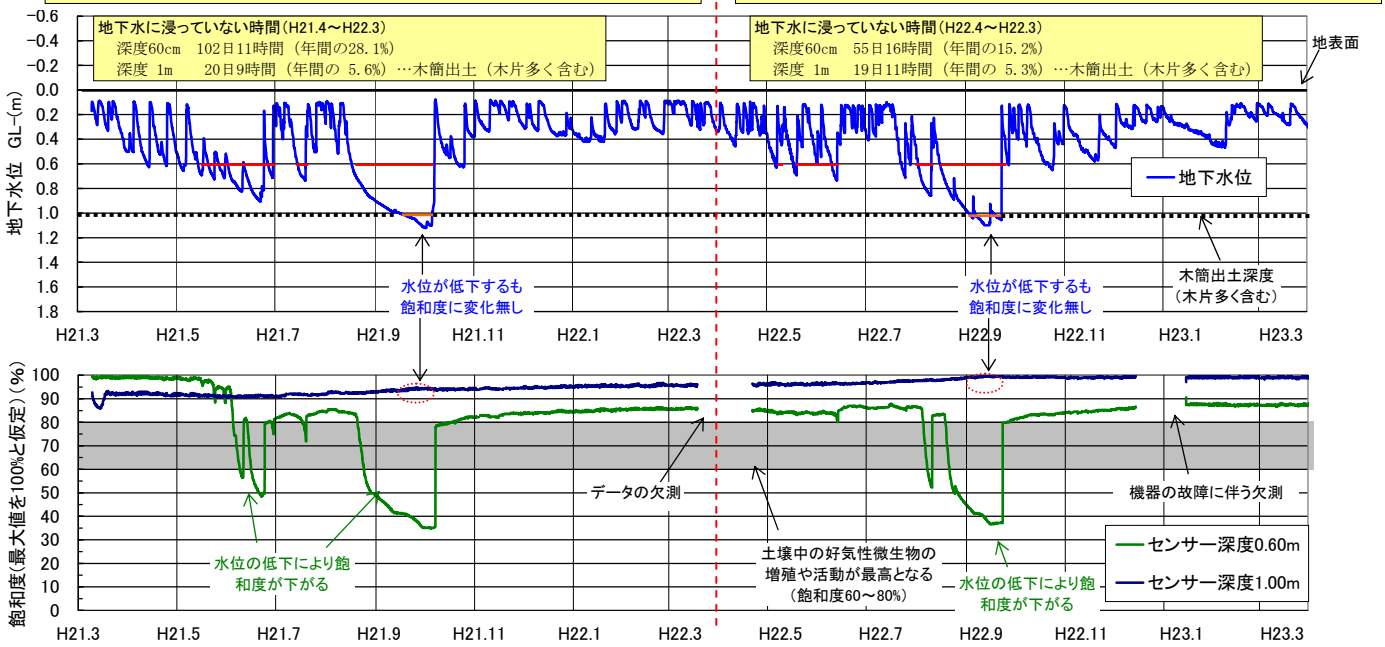


図　地下水位と土壌水分量の観測箇所

写真　地下水位と土壌水分量の観測箇所

第5回委員会報告内容

木簡出土深度(地下1m)と木簡不出土深度(地下 60cm)を比べると、木簡出土深度では、地下水に浸ってなくても飽和度は低下しないが、木簡不出土深度では、地下水に浸っていないと飽和度が大きく低下する。

追加報告内容

地下水位と飽和度の関係は H22 年度も同様の傾向。
H22 年度における木簡不出土深度(地下 60cm)の地下水位低下および飽和度低下は 8 月～9 月のみであり、比較的高い水位を保っていたことが分かる。